

令和2年度 和白青松園事業報告書

1. 入所実績

| | |
|----------|--------|
| ○ 定員 | 52名 |
| ○ 延定員 | 18980名 |
| ○ 入所日数 | 365日 |
| ○ 延入所児数 | 12650名 |
| ○ 平均入所児数 | 34.7名 |
| ○ 入所率 | 66.6% |

(1) 入所状況

(単位は%：名)

| 月区分 | 4月初 | 4月末 | 5月末 | 6月末 | 7月末 | 8月末 | 9月末 | 10月末 | 11月末 | 12月末 | 1月末 | 2月末 | 3月末 |
|-----------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 幼児 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小学校 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 7 | 7 |
| 中学校 | 11 | 10 | 9 | 9 | 9 | 10 | 9 | 9 | 9 | 8 | 9 | 9 | 7 |
| 高校生 | 24 | 22 | 21 | 22 | 21 | 21 | 20 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 11 |
| その他 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 41 | 38 | 36 | 36 | 35 | 36 | 34 | 33 | 33 | 32 | 33 | 35 | 25 |
| 入所率 | 78.8 | 73.0 | 69.2 | 69.2 | 67.3 | 69.2 | 65.3 | 63.4 | 63.4 | 61.5 | 63.4 | 67.3 | 48.0 |
| 入所 合計名 5名 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| 退所 合計名 21名 | | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 10 |
| 一時保護委託 利用者人数 合計 64名 | | 5 | 7 | 5 | 4 | 9 | 7 | 7 | 7 | 5 | 3 | 1 | 4 |
| ショートステイ 利用者人数 合計 132名 | | 8 | 3 | 5 | 6 | 15 | 13 | 10 | 10 | 17 | 16 | 13 | 16 |

(2) 入退所理由

(単位：名)

| 入所理由 区分 | | 虐待 | 就労 | 疾病 | 拘禁 | 養護 | その他 | 計 |
|-------------|-------|----|----|----|----|----|-----|----|
| 年度初現在数 | | 8 | 0 | 12 | 2 | 16 | 3 | 41 |
| 入所数 | | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 5 |
| 退 所 数 | 措置変更 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| | 家庭引取 | 1 | 0 | 2 | 0 | 5 | 0 | 8 |
| | 就職・進学 | 2 | 0 | 1 | 0 | 3 | 2 | 8 |
| | その他 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 計 | 5 | 0 | 4 | 0 | 9 | 3 | 21 |
| 年度末現在数 | | 3 | 0 | 8 | 4 | 10 | 0 | 25 |

2. 児童の支援について

(1) 基本方針・基本理念

①基本理念

児童一人ひとりの立場に立って人権を養護、尊重し最善の福祉サービスを提供することを目指します。

②基本方針

人権尊重を養護の基本とし、事故の防止、疾病の予防に万全を期し明るく健やかに日常生活を送れるよう温かい環境作りに努力する。

* (家庭に近づけ、健康で、いつも笑顔の明るい夢のある生活)

(2) 目標の反省

◇私たちはかけがえのない存在です。お互い思いやりを持って優しい気持ちで接して行きましょう。

=個別化により各々の活動は充実しているように見えるが、一方で、ホーム内での個々の主張も強くなり、他児への反感が生じ折り合わなくなることも増えた。

◇一人ひとりが目標を持ち、あきらめず一生懸命に努力しやり遂げましょう。

=アルバイトや部活動など、施設外での活動に尽力する児童も多く見られ、目的意識を持って取り組む様子が見られた。

高校卒業後の進路も比較的スムーズに決定し、施設での生活も少なからず実を結んだと感じられた。

◇まわりの人に素直に「ありがとう」が言える感謝の気持ちを持ちましょう。

=コロナ禍での生活の中により施設内で過ごす時間が多かったが、こどもたちも理解し生活を送ってくれた。ストレスを感じやすい環境での一年間ではあったが、お互いが尊重し合って生活を送る面も見られた。

◇みんなで話し合った事や決まりをきちんと守り、責任感を持ちましょう。

＝施設内での約束事を守りながら活動できる児童は職員との関係性も良く、充実した生活を送った。反面、高校生年代になると、交友範囲が広い児童は帰宅時間が遅くなるなど、自己中心的な生活を主張する面も見られた。

(3) 具体的内容

- ① 小学生 ○生活支援…学校への行き渋りの児童も一部見られたが、小学生自体の人数が少ない事もあり、個別の関わりを通して、それぞれが前向きに取り組んでいた。施設内においてもトラブル無く遊ぶ姿が良く見られた。
- 学習支援…コロナ禍の生活により、英会話や学習ボランティアが予定通りには活動はできなかったが、日々の宿題等を通じ、学習面の支援を実施した。
- ② 中学校 ○生活支援…学校への行き渋りのある児童以外は、ペースを守り生活できていた。部活動や学習塾など、目標を持って生活することが出来ていた。
- 学習支援…希望する児童は通塾や学習ボランティアの指導等に参加し、各々のペースで学習に取り組むことが出来た。
- ③ 高校生 ○生活支援…アルバイトや部活動に取り組む様子が見られ、卒業後の自立に向けた活動を自主的に行う面が見られるようになった。
- 自分のペースで生活する一方で、声掛けを行なっても朝起きれず憤慨するなど、都合が悪いことは職員に責任転嫁するような場面も見られた。
- 学習支援…進学希望の児童は学習塾を活用するなどし、支援を行った。
- 行き渋りや不登校の児童については、学校と連携し対応した。
- 進路…高校卒業生 8名（就職1名・進学7名）
- 就職… ・病院（介護補助）
- 進学… ・日本基督教大学／佐賀大学／福岡女子短期大学
至誠館大学／福岡デザイン&テクノロジー専門学校
福岡専門学校&リポート専門学校／大原簿記情報専門学校

3. 職員について
 (1) 人員について

(単位：名)

| 職種 区分 | 園長 | 事務員 | 家庭支援専門 相談員 | 個別対応職員 | 里親専門相談員 | 保育士 | 心理士 | 看護師 | 栄養士 | 調理員等 | 合計 |
|------------------------|-------------------------|----------|---------------|--------|---------|-----------|-----|-----|-----|----------|------------|
| | | | | | | 児童 指導員 | | | | | |
| 定数 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 24 | 1 | 0 | 1 | 4 | 36 |
| 4月1日在籍数 含同日採用 | 1 | (1) 1 | 2 | 1 | 1 | (2) | (4) | 0 | 1 | (3) 4 | (10) 38 |
| | | | | | | 26 | 1 | | | | |
| 異動 | 年間退職者数 含3月31日 付退職 | 0 | 0 | 0 | 0 | (0) | (2) | 0 | 0 | (1) 1 | (3) 3 |
| | | | | | | 2 | 0 | | | | |
| 年間採用者数 除4月1日 付採用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | (1) | 0 | 0 | 0 | 1 | (1) 1 |
| | | | | | | 0 | | | | | |
| 3月31日在籍数 除同日退職 | 1 | (1) 1 | 2 | 1 | 1 | (3) | (2) | 0 | 1 | (2) 4 | (8) 36 |
| | | | | | | 24 | 1 | | | | |

※・・・()内は非常勤職員

(2) 充足等について

職員定数(4:1)は36名であるが、実人数は38名でスタートした。
 非常勤心理士4名を採用。

(3) 研 修 等 に つ い て

職員のケアワーカーとしての資質向上のため、県内外の研修会やその他諸々の研修会に積極的に参加し、入所児童の処遇向上を図った。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止のためオンライン研修が多く、今後もこのような形での研修参加が増えると想定される。 ◆=オンライン参加

| | | | | | |
|----------|--------------------|------|------|--------------|------|
| 7/11~13 | SBI 児童養護施設職員研修◆ | 1 名 | 3/ 3 | 市乳養協職員研修会◆ | 34 名 |
| 7/28 | ストレスマネジメント研修 | 2 名 | 3/16 | キャリアパス研修管理職◆ | 1 名 |
| 8/24・28 | キャリアパス研修チームリーダーコース | 2 名 | 3/27 | 筑後いずみ園研修◆ | 4 名 |
| 8/27 | 園内新任研修 | 7 名 | | | |
| 8/27 | 園内研修 | 40 名 | | | |
| 9/ 9 | 市社協中堅職員研修 | 4 名 | | | |
| 9/29 | 2・3 年目研修 | 9 名 | | | |
| 10/13~14 | コーチング研修◆ | 1 名 | | | |
| 10/14 | 報連相強化研修 | 1 名 | | | |
| 10/16 | ソーシャルワーク研修 | 2 名 | | | |
| 10/20 | 4~11 年目研修（園内） | 11 名 | | | |
| 10/21~22 | キャリアパス研修 | 3 名 | | | |
| 10/26 | 12 年目以上研修（園内） | 10 名 | | | |
| 10/27~28 | リーダー研修 | 1 名 | | | |
| 11/18 | アングーマネジメント研修 | 1 名 | | | |
| 11/22~23 | 自閉症スペクトラム養成研修 | 2 名 | | | |
| 11/25 | ウイング研修 | 39 名 | | | |
| 1/22~23 | 九州里親支援相談員研修◆ | 1 名 | | | |
| 2/ 3 | 県社協説明力向上研修◆ | 1 名 | | | |
| 2/19 | ファミリーソーシャルワーク研修◆ | 1 名 | | | |
| 2/24 | そだちの樹特別研修◆ | 5 名 | | | |
| 2/25 | 県養協ケアワーカー部門会議◆ | 2 名 | | | |
| 3/ 3 | 筑後いずみ園研修◆ | 5 名 | | | |

4. 施 設 整 備 に つ い て

- 固定資産物品 …… 地域小規模冷蔵庫／研修用モニター／調理用配膳コンテナ 4 台

- 工事／修繕 …… 松籟ホーム個室改修工事

（新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金）

松林（危険松）伐採工事 3 件（苦情解決）

5. 主な出来事

研修同様新型コロナウイルス感染防止や緊急事態宣言により行事の自粛を行なった。
次年度もコロナ禍の状況を踏まえ行事を検討していく。

| | |
|---------|---------------|
| 4/2 | 辞令交付 |
| 4/6 | 入学祝 |
| 4/1～5/6 | ゴールデンウィーク外泊 |
| 6/10 | 法人監査 |
| 7/10 | 権利擁護委員会 |
| 7/12 | インポートカートリング来園 |
| 7/22 | 夜間避難訓練 |
| 8/3 | 盆読経 |
| 夏休み期間 | 部屋食 |
| 9/20 | 西鉄招待 |
| 11/25 | 法人監査 |
| 12/24 | クリスマス会 |
| 1/1 | 年賀の会 |

6. 苦情解決処理委員会について

・中学校友人保護者より

- 中学校友人からの中傷に対し暴力を振るい、左手人差し指を骨折させてしまっている。学校からの連絡後、保護者に連絡をとり、次長・担当・本人で謝罪にお伺いしお詫びしている。
学校でも指導後に謝罪の機会を持って頂き、改めてご自宅にお伺いしお詫びしたことで、受け入れて頂きご理解を得ている。
本児にも今後、繰り返さないよう指導を行った

・近隣住民より

- 施設内の松の葉が大量に落ちてきて困っている。また、大雨の際に側溝の不整備による雨水・土砂の流入への対応の2点についての苦情。
松の木については、計画的な伐採をお伝えし、側溝については整備に大規模な工事が必要となるため、今後の計画について確定するまでは、応急的な対応を実施することをお伝えしている。

7. 権利擁護委員会

- 不適切な対応についての最終報告と苦情解決について、また、一時保護所の運営状況についての報告を実施した。

8. その他について

① 安全管理

- 防災訓練・・・消防署の指導による防災訓練を実施、また年2回の通報訓練を行った。
(避難、消火、通報訓練・地震避難訓練)
- 健康管理・・・例年通り児童や職員の定期検診・全職員の腸内検査を実施。また、全児童・全職員にインフルエンザの予防接種を実施し、病気の予防や体調管理に努めた。新型コロナウイルス対策としては、検温・手指消毒・マスク着用の徹底など施設内で出来る限りの対策を行うと共に、行政の方針に合わせ児童の生活支援を行った。
- 衛生管理・・・各ホームでの手洗い・うがいの奨励を行なうと共に、施設内での感染性の高さを意識付け、食中毒予防など衛生意識向上に努めた。食事の配膳の際のエプロン・三角布の着用の徹底。
保健所指導のもと調理室の衛生管理を実施した。

- ### ② 地域交流・・・
- 新型コロナウイルスの影響で、地域行事も軒並み中止となった中で、育成会活動などの小規模の活動にはできる範囲で参加した。

- ### ③ 各種事業・・・
- 地域小規模児童養護施設「あすなろホーム」「結実ホーム」、小規模グループケアホーム5棟、等の各種事業を実施、各事業において自立援助や家族再統合を目標に、こどもたちの安心・安全な生活の確保に取り組んだ。

また、一時保護専用ホーム『クローバー』では、本年度から2棟で運営し、定員を12名に増加。一時保護委託やショートステイを実施した。

- ### ④ 後保護・・・
- コロナ禍の中であったため、成人式のお祝いを実施するに留まった。

⑤ 実習生、ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染防止により、実習生・ボランティアともに、自粛及び自粛のお願いを実施したため、例年よりは減少傾向となった。

○ 実習生(大学、短大、その他)

- ・ 受け入れ校・・・17校、実習日数10日～24日、実習実人員64名

○ ボランティアの受け入れについて

- ・ ボランティアの受け入れについてはマニュアルを作成し、職員に徹底し意思の統一を図った。

○ ボランティア(招待)(敬称略)

- ・ 食事/食材・・・博多食文化の会/焼肉極味や

- ボランティア（訪問）（敬称略）
 - ・ 理容奉仕（move、約 24 名）
 - ・ 学習指導（九大学生）

⑥ 寄付物／寄付金

○ 寄付物について（敬称略）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 不二精機株式会社（玩具／雑貨） ・ (有)トップクロス（商品券） ・ アサヒビール（株）（おせち 5 箱） ・ ドミノピザ（ピザ）2 件 ・ インポートカーリング（図書カード） ・ 博多不動産（商品券） ・ (株) アクティネットワーク（ipad2 台） | <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)環境開発（図書カード） ・ (株)新生堂薬局（お菓子等） ・ (株)ライブネス（食材） ・ フリップ・モリスジャパン(株)（食材）2 件 ・ 2nd prime 株式会社（マスク） ・ 他 49 件 |
| <p>全 63 件 計</p> | <p>2,465,000 円</p> |

○ 寄付金収入（敬称略）

| | | | |
|-------------------|-------------|-------------------------|--------------|
| ・ 塩塚千鶴子氏 | 8,000,000 円 | ・ 曾根泰子氏 | 120,000 円 |
| ・ (株)ミロク企画 8 件 | 528,000 円 | ・ (株)ECO-HOME-APPLIANCE | 100,000 円 |
| ・ (株)エスネットワーク酒井氏 | 300,000 円 | ・ (株)SYSKEN | 100,000 円 |
| ・ 和白青松園サポーター | 300,000 円 | ・ (株)キャリーオン | 100,000 円 |
| ・ 東海住宅販売(株) | 250,000 円 | ・ (株)西日本洗管サービス | 100,000 円 |
| ・ 井上敏恵氏 | 200,000 円 | ・ 生命保険協会 | 100,000 円 |
| ・ 福岡第一ライオンズクラブ | 200,000 円 | ・ 八頭司正典氏 | 100,000 円 |
| ・ 学校法人巨樹の会 | 129,000 円 | ・ 他 13 件 | 289,611 円 |
| ・ (株)ワールドドライブ 2 件 | 120,000 円 | 全 37 件 計 | 11,583,092 円 |